

(仮称) かすかべエリアプラットフォーム 企画検討会



エリアプラットフォーム
関係者向け資料

※画像はイメージです

strictly confidential

【閲覧制限A】提出企業様のみ

関係者
限定

インプット

時間	配分	プログラム内容	ポイント
19:00 – 19:10	10分	主旨説明	・ 検討会の目的と進行共有/企画の組み立て方など ・ まちの伸びしろマップ説明
19:10 – 19:20	10分	まちづくり企画のポイント(ハートビートプラン 園田氏)	自分のやりたいことがどう街とつながるかのイメージ、未来ビジョンからどのような空間が生まれているか
19:20 – 19:30	10分	春日部事例紹介(日本工業大学 木下先生)	春日部でのまちづくり活動、学生連携企画、企画のポイント、春日部における課題点など

アウトプット

時間	配分	プログラム内容	ポイント
19:30 – 20:15	45分	個人ワーク/相談タイム	・ 企画シートの説明 ・ 企画シートへ想いを書き出す ※CCC/学識者が相談を受け付けます
20:15 – 20:35	20分	グループワーク	チーム内での相互発表・相談タイム。お互いのアイデアや意見を掛け合わせ、企画シートをまとめ上げていく
20:35 – 20:50	15分	発表・意見交換	・ 発表（3名程度） ・ 意見交換（相談したいことや今後の活動に対するアイデアなど）
20:50 – 21:00	10分	総括・ネクストアクション共有	・ 今後のスケジュール ・ 検討会/フィールドワークの意見収集 ・ 次回検討会の調整 ・ リーダー選出のご案内など

持続可能な中心市街地のまちづくりに向けて 実行段階へ移行

目指す**ゴールの具体化**
(言語化・ビジュアル化)



未来ビジョンの策定、
冊子の制作/公開

役割の明確化

リーダー選定・
事務局/部会構築

運営基盤整備

ルール/意思決定
フロー策定

将来像に基づいた
**やりたい事、
やってみたい事**
(企画立案)



部会設立と社会実験の準備

まちづくり
企画力育成

まちづくり・企画立案に
関する勉強会

企画の具体化

なぜ・どこで・なに
を・だれが・どのよう
にやるか

①やりたい事、やってみたい事（企画）立案

「未来ビジョンの骨子作成」

- ・どんなエリアにしたいか
 - ・どこで何をするか
 - ・誰のためのまちづくりか
- ⇒APで実現したいことの確認

企画立案要素（イメージ）

① 目指す姿	「2030年の春日部の1日」などで表現
② ターゲット×利用シーン	例：子育て世代／若者／来街者×昼・夜・休日など
③ エリア構想	コアエリア設定・駅前／300m地点などの役割
④ 重点テーマ（3～5本）	にぎわい／子育て／観光など企画群から抽出

②やりたい事、やってみたい事（企画）の具体化・部会設立

「企画/部会の選定」

- ・重点テーマ
 - ・社会実験対象企画
- ⇒誰がなにをやるかを決めていく

③社会実験検討

「来年度に向けた準備」

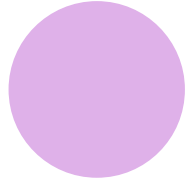
- ・短期、中期の流れ
 - ・簡単なKPI
 - ・財源の方向性
- ⇒実現方法の具体検討

④運営基盤整備＝誰がどう動かしていくか

推進体制/APの役割/民間行政の役割/
意思決定の流れ など

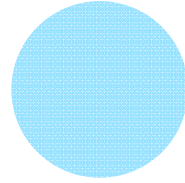
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
主な内容	交流会	テーマ選定/ 企画仮説立案	フィールド ワーク	勉強会/ 企画発表/ AP発足	企画立案	企画発表会/ 未来ビジョン 骨子	社会実験候補の 選定	未来ビジョン 完成/部会設立	社会実験の検討	未来ビジョン データ完成	報告会/未来ビ ジョン冊子完成
未来 ビジョン		●定例検討会（月1開催）	●ビジョン要素構成の協議 ●ビジョン要素の個別協議	●ビジョン要素の個別協議・運営規約/ルール確定	●AP発足	●ビジョン骨子発表	●ビジョンの具体協議/社会実験候補の選定	●ビジョンの方向性確定			●報告会/ 成果発表
企画	●企画の仮説立案			●企画立案/部会構築検討		●企画発表・企画の具体化・部会設立		●社会実験の検討（部会単位）			
	●交流会（テーマ案収集/チーム組成）			●勉強会（企画案の発表）	●企画発表会（一般公開）	●社会実験テーマ仮確定 ※実施確定は来年度					
		●検討会（テーマ×企画仮説立案）		●企画エントリー⇒企画発表者の確定		●部会リーダー選定/部会設立					
			●フィールドワーク（仮説磨き上げ）	●フィールドワーク（エリア実態把握）				●社会実験方法/KPIの検討			

6月



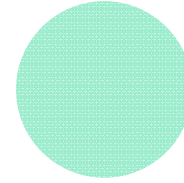
未来像の
共有

7～9月



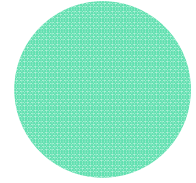
未来像を
実現するための
企画を考える

10～12月



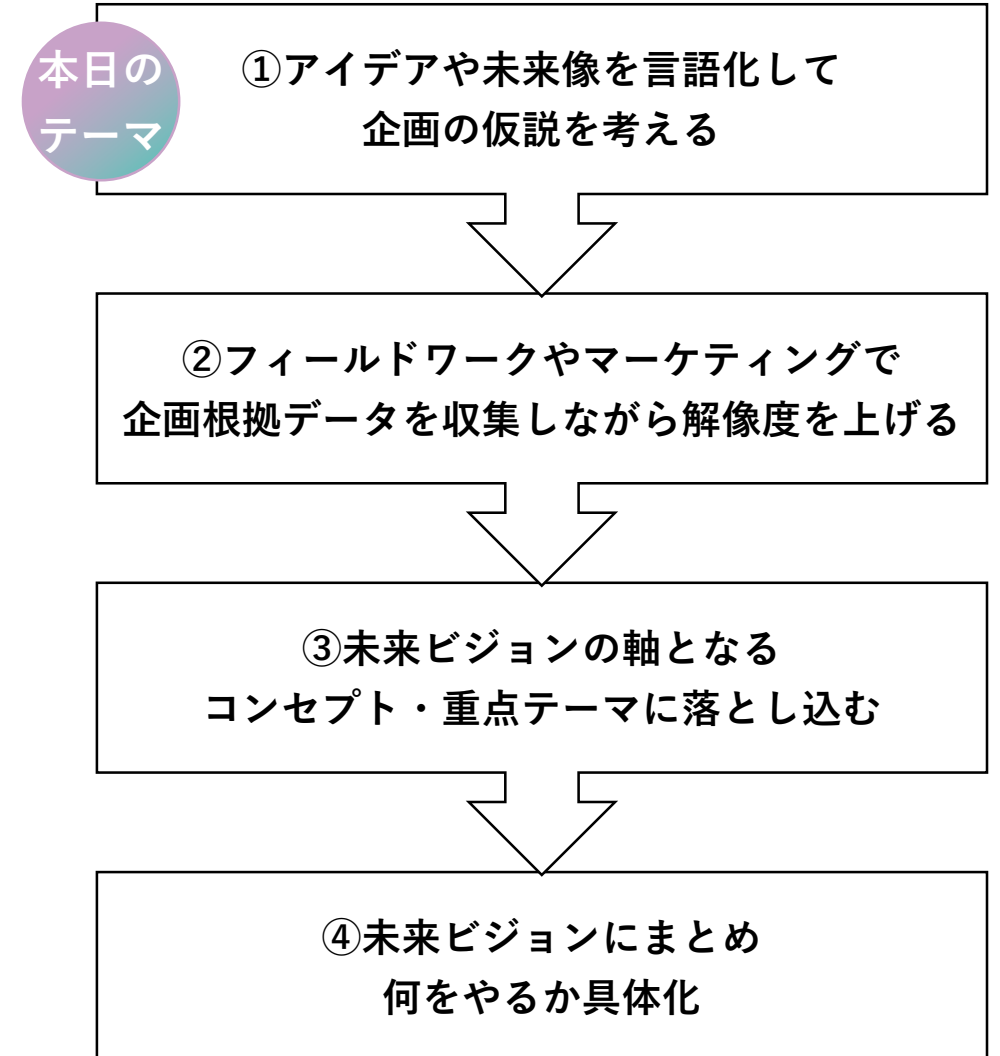
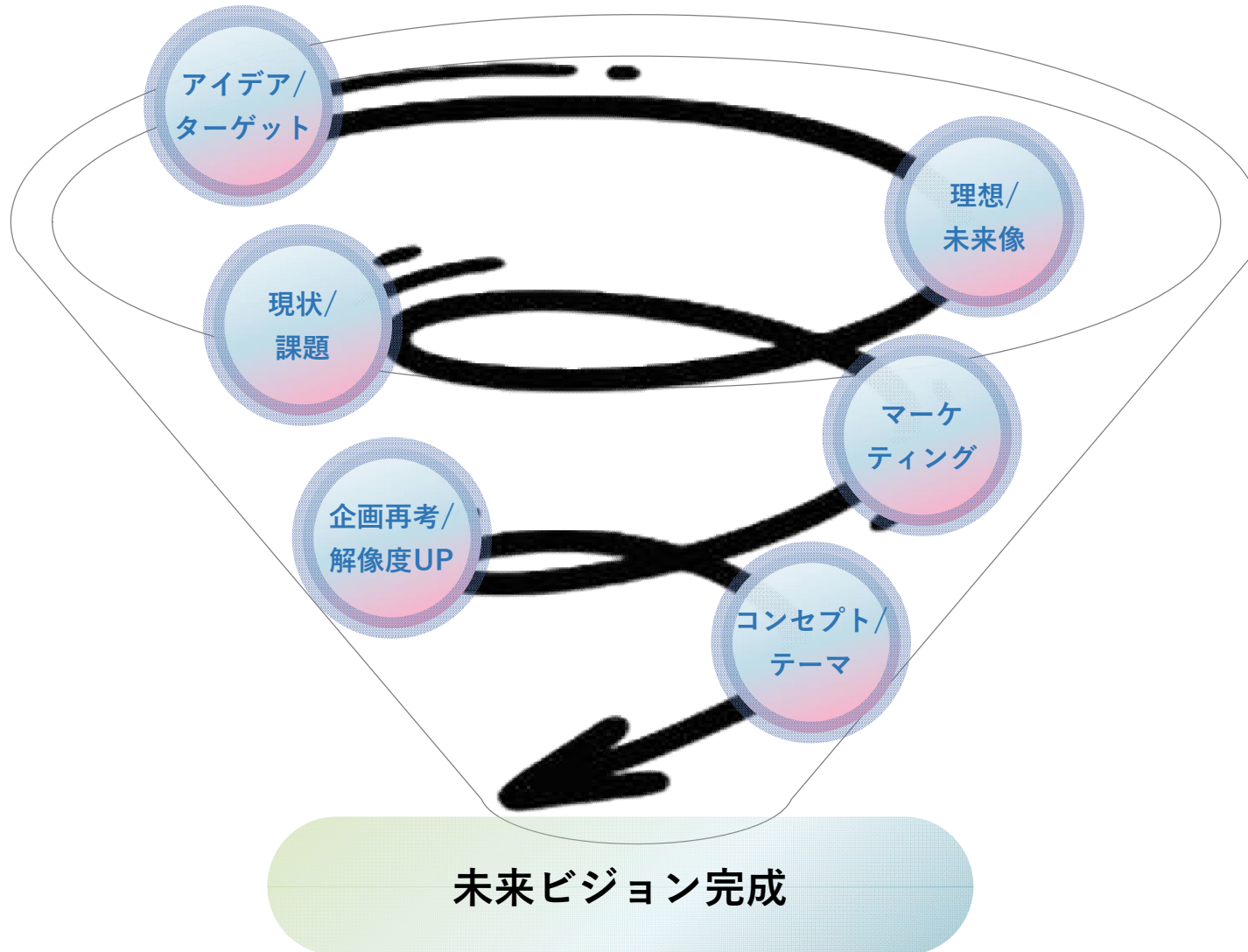
未来ビジョン完成/
部会設立

来年以降



将来像の
実現に向けた取組
(社会実験など)

春日部駅前でのような景色や過ごし方を実現したいか
企画シートに入力＆発表して言語化しながら共有し合い、企画を考えるきっかけをつくる



【まずは企画】

なぜやるか/ なにをするか



- ①テーマ
- ②目指す未来の日常
- ③目的の明確化（仮説）
- ④対象者（誰のためか）
/利用シーン
- ⑤どこで実施するか

【次に計画】

どうやって 実現するか



Point!! 実現方法/手段から考えない

①テーマ	☐ 日常生活リビング化 ☐ ナイトタイムカルチャー ☐ 観光ツーリズム ☐ その他（ ）
②目指す未来の日常 （創出したいシーン）	2030年の春日部駅周辺で、どのような心地よい風景・体験を作りたいか 例：「仕事帰りの若者が、お気に入りのリノベベンチで地元の食を楽しみながら語らう夜」
③目的の明確化（仮説）	目指す未来の日常をなぜ創り出したいか・春日部ならではのポイントなど 例：春日部の駅利用者は多いが、仕事帰りなど街中に繰り出す人が少ない。街中に目的がないと思われる為、まずはお気に入りの場所をつくるきっかけづくりが重要、食感度の高い若者が地元の食を屋外で楽しめる機会をつくり、リノベベンチ空間と食体験のファンになり、リピーターになる人がどんどん増えていくと若者の駅周辺滞在時間が増え、経済活動も活発になり飲食店売上も上がっていく
④対象者（誰のためか） × 利用シーン	ターゲット： ☐ 子育て世代 ☐ 単身者 ☐ 若者・学生 ☐ シニア ☐ 来街者 ☐ その他 ペルソナ：ターゲットの人となり 時間軸・タイミング： ☐ 平日昼 ☐ 夜間 ☐ 休日
⑤対象エリア・空間構想・ どこで実施するか	駅前広場、駅から300m圏内の通り、公園、東口・西口の○○など
⑥具体的なアクション （企画概要）	・具体的になにをやるか・誰が主体となって動かすか・どのようにやるか・いくら必要か・効果測定はどうやるか など
⑦社会実験に向けて 不足しているノウハウ	・実現に向けて、どのような専門知識（企画根拠/事例/お金の仕組み/交通動線/夜間防犯等）が必要か ・行政/中間支援への相談/クリアしてほしい手続きや規制緩和のイメージ

今回の
対象範囲

今後の
検討会
テーマ

都市計画課



インプット

時間	配分	プログラム内容	ポイント
19:00 – 19:10	10分	主旨説明	・ 検討会の目的と進行共有/企画の組み立て方など ・ まちの伸びしろマップ説明
19:10 – 19:20	10分	まちづくり企画のポイント(ハートビートプラン 園田氏)	自分のやりたいことがどう街とつながるかのイメージ、未来ビジョンからどのような空間が生まれているか
19:20 – 19:30	10分	春日部事例紹介(日本工業大学 木下先生)	春日部でのまちづくり活動、学生連携企画、企画のポイント、春日部における課題点など

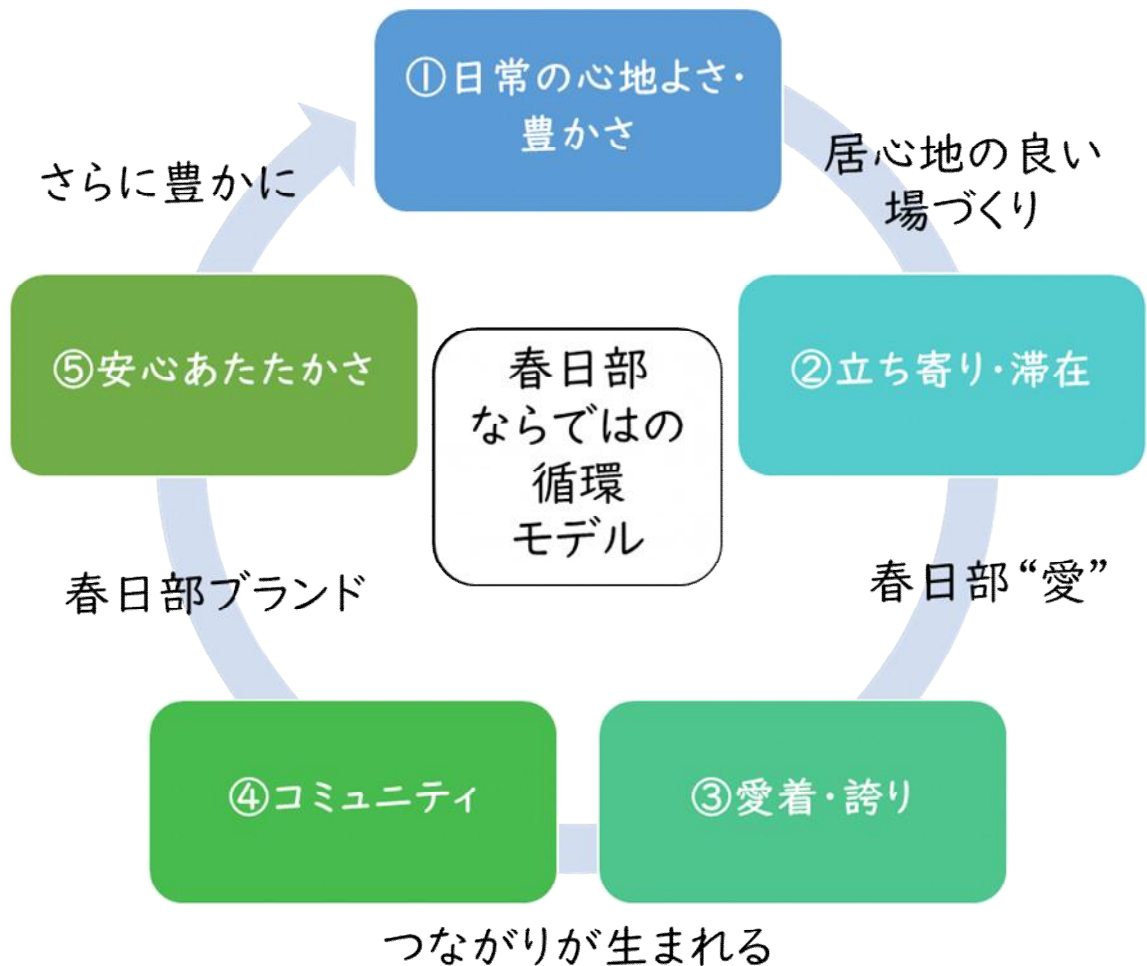
アウトプット

時間	配分	プログラム内容	ポイント
19:30 – 20:15	45分	個人ワーク/相談タイム	・ 企画シートの説明 ・ 企画シートへ想いを書き出す ※CCC/学識者が相談を受け付けます
20:15 – 20:35	20分	グループワーク	チーム内での相互発表・相談タイム。お互いのアイデアや意見を掛け合わせ、企画シートをまとめ上げていく
20:35 – 20:50	15分	発表・意見交換	・ 発表（3名程度） ・ 意見交換（相談したいことや今後の活動に対するアイデアなど）
20:50 – 21:00	10分	総括・ネクストアクション共有	・ 今後のスケジュール ・ 検討会/フィールドワークの意見収集 ・ 次回検討会の調整 ・ リーダー選出のご案内など



企画シートの
各項目を記入
(目安 各パート5分)

まちが自然と良くなっていく循環モデル



⇒ 来年度、コンセプト・実験内容などを磨き上げ未来ビジョン策定へ

春日部ならではのまちづくり循環モデル解説

- ① 日常の小さな心地よさに気づき、ふらっと行きたくなる
- ② エリアプラットフォームの活動から駅前や公園などで春日部らしい魅力に触れられる体験が生まれ、心地よく滞在できる
- ③ その体験が春日部“愛”につながり、愛着や誇りが生まれる
- ④ 人やお店・活動とのつながりからコミュニティが育ち、「春日部ってこんな街」と伝えたいくなる広がりも生まれる
- ⑤ 居心地の良い場・魅力的な体験・かすかべ“愛”・コミュニティが生まれることで、日常の安心・あたたかさがうまれる
- ⑥ ①～⑤の日常を繰り返すことで、さらに日常が好循環する

まちづくりが循環するために必要なこと

ターゲット設定	・誰にとって何が心地よい日常なのか（学生・子育て世代・シニア・来訪者など）を明確にすること
魅力の見える化 ⇒ 情報発信	・ターゲット別に春日部の魅力を“見える化”し、春日部ならではの良さを磨き上げて効率的に発信することで、生活者の行動につなげる
駅周辺×エリア横断 滞在の仕組み化	・駅前 × 市域全体を連動させた回遊と滞在の仕組みを整えること
持続可能な運営体制と 経済循環	・世代や立場を超えて“続く関係”が生まれる仕組みをつくり、人が集まり持続的に経済が循環するにぎわいの場をつくる

テーマ①：まちなか日常リビング化

Daytime & Life

- **交流会の声**：「すわる、ねる、買う、食べる活動をやりやすく」「子育て」「屋内+屋外ドッグラン🐕&カフェ！！」
- **企画例**：昼間の日常的な心地よさの創出。ファミリー、シニア、ペット連れが「普段使い」で滞留する風景を創る。

テーマ②：ナイトタイム・カルチャー

Nighttime & Culture

- **交流会の声**：「広場でストリートミュージシャン」「ダンス、芸大」
- **企画例**：学校・仕事帰りの若者や大人が主役。音楽やアートなどを軸に「夜の新しい遊び場・エンタメ空間」をプロデュースする。

テーマ③：観光ツーリズム

Weekend & Tourism

- **交流会の声**：「市街から人を呼ぶ春日部ツアー（今までにない世界観で）」「関東の目的地にしたい。」
- **企画例**：週末の非日常。既存の観光枠を超え、市外からわざわざ人を呼び込むための体験プログラムや特別感を仕掛ける。

好きなテーマいずれかを選択するか、その他テーマを記入してください

高架化した春日部駅周辺で
実現したい“未来像”をイメージしてみてください

理想的だと思う“心地よい日常的な風景や体験”は？



例えば

（どんな人が） 仕事帰りの若者が
（この場所で） 西口の駅前広場で
（風景） おしゃれな灯りの下で仲間と一緒に
（体験） 地元の食を楽しみながら語らう夜

なぜ未来像を実現したい？どんな効果が生まれそう？ 正解はないので仮説を考えてみましょう

参考：松本城三の丸エリアビジョン

Point 1 「なぜ、やるか」を共有する

松本城三の丸エリアの合言葉

誰かに語りたくなる暮らし

松本城三の丸エリアで目指すのは、お気に入りの居場所を持つことができ、会いたいと思える人がたくさんいて、チャレンジしたくなるような環境です。そして、それらの喜びをお互いに語り合うことでまちへの愛着が生まれ、何気ない日々の暮らしを楽しむ心地よさが育まれていきます。



何気ない日々の暮らしを楽しむ

豊かな自然、多様な文化、人とのつながりに囲まれて暮らす。生活を彩るのは人・物・事との「偶然の出会い」



お気に入りの居場所がある

いつものカフェや水辺の遊び場、音楽仲間が集う店。お気に入りの居場所を複数持てる「選択肢の多様さ」



チャレンジしたくなる

趣味仲間や芸術家、起業家など、表現したい人、挑戦したい人の自由な発想と活動を受け入れてくれる「寛容さ」



街の物語を感じられる

歴史や文化や多種多様な感性。松本に暮らす喜びをお互いに語り合うことで醸成される「街への愛着」



会いたい人がいる

素敵な飲食店やショップのオーナー、若手の作家さんや山登りの仲間。趣味嗜好で繋がっていく「顔が見える繋がり」

春日部ならではのポイントは？

現状と解決したい課題は？

想定効果は？

例：春日部の駅利用者は多いが、仕事帰りなど街中に繰り出す人が少ない。街中に目的がないと思われる為、まずはお気に入りの場所をつくるきっかけづくりが重要、食感度の高い若者が地元の食を屋外で楽しめる機会をつくり、リノベベンチ空間と食体験のファンになり、リピーターになる人がどんどん増えていくと若者の駅周辺滞在時間が増え、経済活動も活発になり飲食店売上も上がっていく

どんな人のニーズに合う？

その人はどんな生活を送ってる？

どんなタイミング？

ターゲットや利用シーンを絞ることで
効果効率を高めることが可能

どんな人がどんなタイミングで
その空間を利用しているイメージか
書き出してみましょう

【参考：ターゲットのニーズと合致しないとどうなるか？】

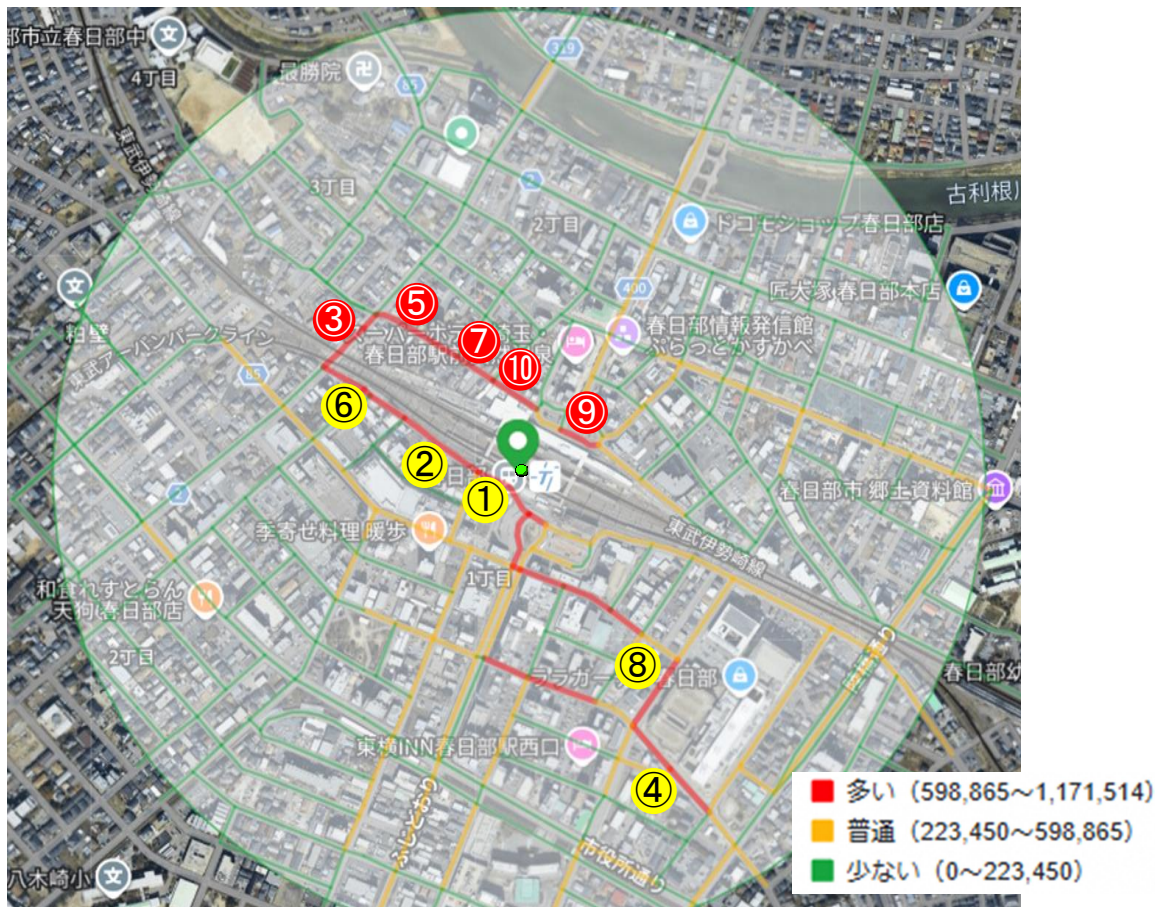
例1：高単価のオーガニック食材を取り扱う飲食スペースを企画したが、ニーズと合致せず利用者が少なかった

例2：親子がゆっくりできる場所をつくったが、ベビーカー利用者が多く、ベビーカーを置ける場所がなく道路の妨げになったり利用しづらくなってしまった

⑤対象エリア・空間構想・どこで実施するか

実態を把握しながら、通行量多い場所からどうやって呼び込むかなどの検討材料

通行量TOP10



【通行量が多い道の傾向】

- ・ 全体的に平日の方が通行量が多い傾向（特に西口）
- ・ TOP3は西口駅改札周辺
- ・ 西口駅前は、通勤/通学者が多いと推察
- ・ シニアは、駅利用より踏切/商業施設利用が多い

通行量TOP10（平日/休日内訳）

順位	no	平均人流/日	区分	主要年代	男性/女性
1	①	3,417人	平日	40代・20代・60代	53.0%/47.0%
2	②	2,831人	平日	40代・70代・60代	60.0%/40.0%
3	①	2,781人	休日	20代・40代・30代	49.8%/50.2%
4	③	2,717人	平日	70代・40代・60代	56.3%/43.7%
5	④	2,674人	平日	70代・20代・60代	41.6%/58.4%
6	⑤	2,567人	平日	70代・40代・60代	56.3%/43.7%
7	⑥	2,522人	平日	70代・40代・60代	56.1%/43.9%
8	④	2,488人	休日	70代・30代・40代	42.3%/57.7%
9	⑦	2,429人	平日	70代・40代・60代	56.7%/43.3%
10	⑧	2,316人	休日	70代・30代・60代	39.8%/60.2%

【出典:KDDI Location Analyzer】春日部駅から600m圏・徒歩・全人口推計値/人・2026/4/30までの1年間



- 同じテーマの人でチーム編成
- 各チームでグループワーク
- 企画シート内容を発表
- 相談したいことがあれば伝える
- 意見やアイデアをもらう ※否定NG

インプット

時間	配分	プログラム内容	ポイント
19:00 – 19:10	10分	主旨説明	・ 検討会の目的と進行共有/企画の組み立て方など ・ まちの伸びしろマップ説明
19:10 – 19:20	10分	まちづくり企画のポイント(ハートビートプラン 園田氏)	自分のやりたいことがどう街とつながるかのイメージ、未来ビジョンからどのような空間が生まれているか
19:20 – 19:30	10分	春日部事例紹介(日本工業大学 木下先生)	春日部でのまちづくり活動、学生連携企画、企画のポイント、春日部における課題点など

アウトプット

時間	配分	プログラム内容	ポイント
19:30 – 20:15	45分	個人ワーク/相談タイム	・ 企画シートの説明 ・ 企画シートへ想いを書き出す ※CCC/学識者が相談を受け付けます
20:15 – 20:35	20分	グループワーク	チーム内での相互発表・相談タイム。お互いのアイデアや意見を掛け合わせ、企画シートをまとめ上げていく
20:35 – 20:50	15分	発表・意見交換	・ 発表（3名程度） ・ 意見交換（相談したいことや今後の活動に対するアイデアなど）
20:50 – 21:00	10分	総括・ネクストアクション共有	・ 今後のスケジュール ・ 検討会/フィールドワークの意見収集 ・ 次回検討会の調整 ・ リーダー選出のご案内など

インプット

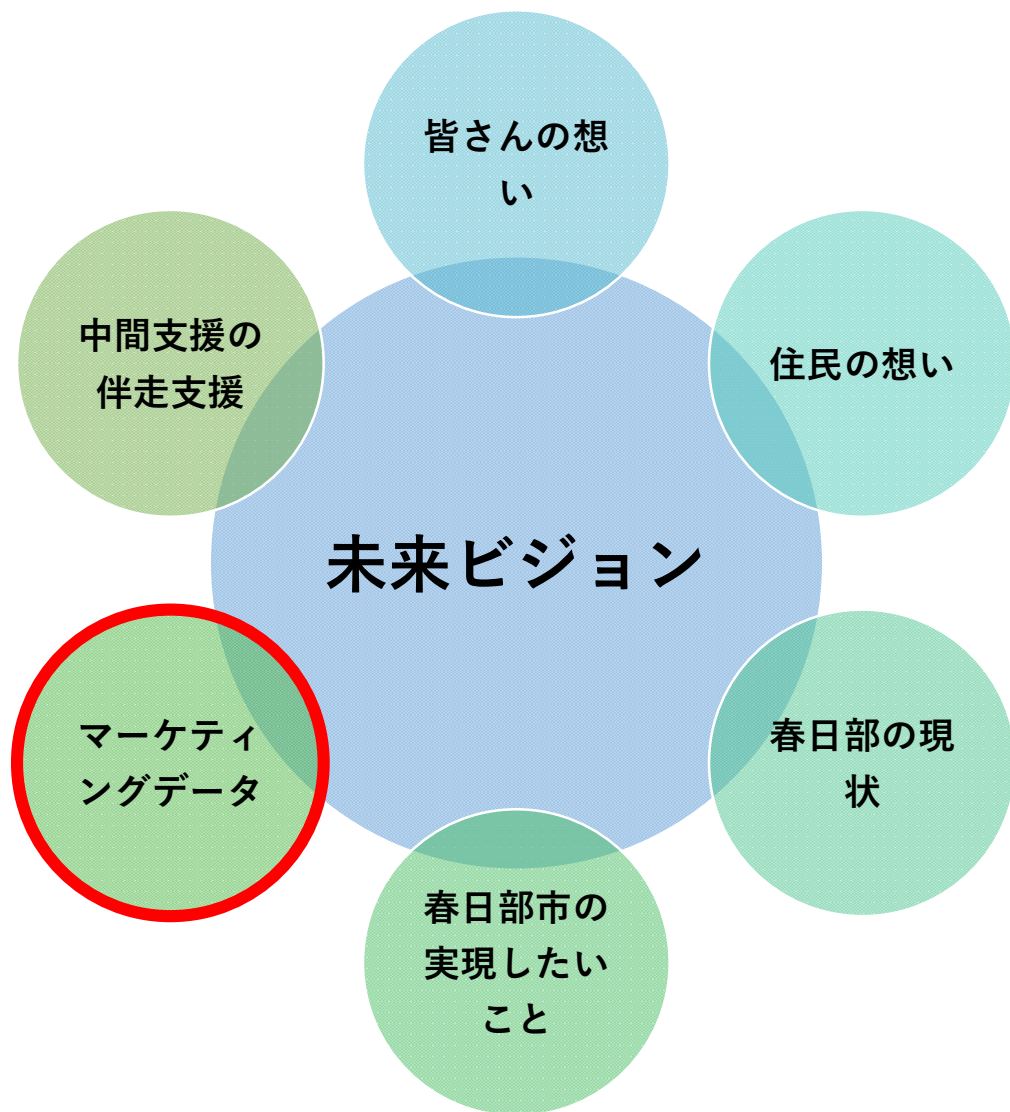
時間	配分	プログラム内容	ポイント
19:00 – 19:10	10分	主旨説明	・ 検討会の目的と進行共有/企画の組み立て方など ・ まちの伸びしろマップ説明
19:10 – 19:20	10分	まちづくり企画のポイント(ハートビートプラン 園田氏)	自分のやりたいことがどう街とつながるかのイメージ、未来ビジョンからどのような空間が生まれているか
19:20 – 19:30	10分	春日部事例紹介(日本工業大学 木下先生)	春日部でのまちづくり活動、学生連携企画、企画のポイント、春日部における課題点など

アウトプット

時間	配分	プログラム内容	ポイント
19:30 – 20:15	45分	個人ワーク/相談タイム	・ 企画シートの説明 ・ 企画シートへ想いを書き出す ※CCC/学識者が相談を受け付けます
20:15 – 20:35	20分	グループワーク	チーム内での相互発表・相談タイム。お互いのアイデアや意見を掛け合わせ、企画シートをまとめ上げていく
20:35 – 20:50	15分	発表・意見交換	・ 発表（3名程度） ・ 意見交換（相談したいことや今後の活動に対するアイデアなど）
20:50 – 21:00	10分	総括・ネクストアクション共有	・ 今後のスケジュール ・ 検討会/フィールドワークの意見収集 ・ 次回検討会の調整 ・ リーダー選出のご案内など

1. オンラインチャットツール「Teams」への参加
2. 検討会/フィールドワークのアイデア募集
3. 未来ビジョン&企画づくりにおける相談ごと
4. リーダー募集

⇒ 詳細は、後日メールでご案内します



未来ビジョン・企画の根拠となる
マーケティングデータを収集し、
未来ビジョン策定&伴走支援します

企画を考える上での相談ごとや
“こういう情報が欲しい”などの
ご要望があれば教えてください

(1) 組織をまとめる「運営リーダー/サブリーダー」

- ・ **実施内容**： AP全体の定例会議のファシリテーション、東西エリアや各部会間の意見調整、春日部市やCCCとの公式な窓口・意思決定。
- ・ **必要な能力**： 自身のやりたい企画（主観）に偏らず、AP全体の多様な意見を公平に聴く「客観的なバランス感覚」と「合意形成力」。

(2) 企画・プロジェクトを引っ張る「部会リーダー（発起人）」

- ・ **実施内容**： 未来ビジョンに基づいた具体的な社会実験の現場実装、部会メンバーの巻き込みと実務の牽引。
- ・ **必要な能力**： 綺麗にまとめる能力よりも、「この企画を何としても街で実現したい」という強い熱量と「突破力（意志）」。

ステップ①
立候補・推薦

6月中

- ・リーダー1名（AP全体の運営・取りまとめ役）・副リーダー複数名の募集 ※状況に応じて他役割も検討
- ・募集形式は「立候補（自薦）」「推薦（他薦）」

ステップ②
信頼の可視化

7月中旬

- ・7月の検討会にて、候補者によるプレゼン（これまでの活動内容・APに対する思いなど）
- ・APメンバー全員による無記名アンケートを実施

ステップ③
三者合同
審査による
最終決定

7月下旬

- ・メンバーからの投票結果を踏まえつつ、「学識者・春日部市・中間支援」の三者合同審査会を開催し、最終決定（リーダー/副リーダー/他役割にマッチング調整）

6月中旬	Teams運用開始
6月下旬	未来ビジョン要素構成の協議
7月初旬	リーダー募集開始
7月中旬	フィールドワーク
7月下旬	リーダー確定
8月～	APリーダー中心に運営